

## UDCBKのアンケートの概要一覧

	現 行			新 設
調査名	① フリースペース 利用状況調査	② 講座受講者調査	③ 利用者調査	④ 【新】特別調査
記入時期 (いつ)	通年	講座開催時	利用者来室時	特定期間（1箇月間を想定）
記入者 (誰が)	職員	市民	市民	市民
記入用紙 (何で)	利用者受付簿	(講座名) アンケート調査票	UDCBK御利用アンケート	【特別調査】UDCBK御利用アンケート
確認方法 (どのように)	目視	調査票	調査票	調査票
設問	①利用時間、②利用人数、③利用目的（休憩、学習、セミナー、相談、その他）、④年代（成人、学生、小学生、未就園児）	I.①性別②年代③住まい④交通手段⑤職業 II.問1:内容理解度、問2:利用目的、問3:講座参加回数、問4:場所を知ったきっかけ、問5:利用時間帯	I.①性別②年代③住まい④交通手段⑤職業 II.問1:利用回数、問2:利用目的、問3:講座参加回数、問4:場所を知ったきっかけ、問5:利用時間帯 III.利用の感想	I.①性別②年代③住まい④交通手段⑤職業 II.問1:利用回数、問2:利用目的、問3:講座参加回数、問4:場所を知ったきっかけ、問5:利用時間帯（希望）問6:UDCBKへの要望 III.利用の感想
目的	フリースペースの利用者の人数等を把握し、月別利用人数の推移を比較するため。	アーバンデザインスクールおよびアーバンデザインセミナーの受講者の感想等を把握し、今後の講座のテーマ設定等に活用するため。	UDCBKを知ったきっかけや利用に際しての意見等を把握し、今後の運営の改善につなげるため。	UDCBK利用者の実態およびニーズ等を把握（全数調査）し、普段の利用者の詳細を明らかにして今後の運営の改善につなげるため。
課題	出入りのある団体利用の場合は職員が利用者の人数の把握が困難となる。	そもそも時間帯のあう方しか参加していない中での調査となっている。	初めての利用者か何か意見がある利用者しか基本的に対象とならない。	ニーズ調査を行った後の反映をどこまでするのかの議論が必要となる。
備考	団体利用者には任意でオープンスペース利用受付カード（案）の記入依頼をする。			